

平成27年度事業報告書

(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

1. 概況

平成27年度も、これまで通り公益財団法人上原美術館として各種公益目的事業活動の推進を基本に運営を行った。

上原近代美術館においては、開館15周年記念事業として企画展（上原コレクション名品選）や講演会開催に加えて、所蔵品カタログの刷新・頒布、研修会の開催等を実施した。

また、上原仏教美術館においては、10月以降、リニューアル工事実施のため、美術館での展示公開や企画展開催は9月末までの半年間に限定されたが、講演会や研修会の開催、調査研究活動等は従来通り実施した。

両美術館とも一年を通じ、事業計画に基づいた運営管理、展示公開、調査研究、講演会・研修会開催等を順調に行うことができた。

2. 上原近代美術館及び上原仏教美術館の運営管理（定款第5条第1号）

— 平成27年度美術館入館者及び収入実績

公益財団法人 上原美術館			
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計
14,160人	671万円	155万円	826万円

〔内訳〕

上原近代美術館				
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計	開館日数
9,477人	567万円	130万円	697万円	351日（*1）
上原仏教美術館				
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計	開館日数
4,683人	104万円	25万円	126万円	183日（*2）

（*1）展示替及び館内修繕工事を含め、15日間休館

（*2）リニューアル工事のため、10月以降休館

3. 美術品の展示及び公開（定款第5条第2号）

<上原近代美術館>

本年度の展示・公開事業は、収蔵作品を中心に3ヶ月毎にテーマを持った企画展を実施し、展示ケースによる美術関係資料の紹介など魅力ある展示に努めた。また、本年度は日本画をより魅力的に鑑賞できるように軸用壁面ケースを作成した。

(1) 常設展、特別展

開館15周年記念 上原コレクション名品選Ⅰ — 名画に秘められたエピソード —	
開催期間	平成27年3月17日(火)～平成27年6月28日(日) [104日間] 出展作品数38点 入館者数2,915名
開館15周年記念 上原コレクション名品選Ⅱ — 日本洋画の魅力 —	
開催期間	平成27年7月11日(土)～平成27年10月25日(日) [107日間] 出展作品数36点 入館者数2,628名
開館15周年記念 上原コレクション名品選Ⅲ — 日本画の美 —	
開催期間	平成27年10月27日(火)～平成28年1月11日(月) [77日間] 出展作品数35点 入館者数2,087名
花の絵画—モネ、ルドン、安井曾太郎らが描く季節の彩り—	
開催期間	平成28年1月13日(水)～平成28年3月13日(日) [61日間] 出展作品数47点 入館者数1,815名

(2) 絵画教室生徒の作品展（会場 当美術館会議室 ※入場無料）

教室名	開催期間（開催日数）
デッサン・水彩画教室	平成28年3月17日～3月22日 [6日間] 入館者数192名
日本画教室	平成28年3月25日～3月30日 [6日間] 入館者数192名

(3) 館外出品 (下記展覧会に貸出)

開館30周年を迎えた練馬区立美術館へ館外出品したほか、海外の重要な展覧会への収蔵品貸出を行った。ベルギーのモンス美術館に貸出したゴッホ《鎌で刈る人(ミレーによる)》、並びにドイツのブンデスクンストハレ美術館に貸出したモネの《雪中の家とコルサース山》は現地で大きな注目を集めた。

展覧会名	「ボリナージュのファン・ゴッホー画家の誕生」 於：モンス美術館、ベルギー
開催期間	平成27年1月25日(日)～平成27年5月17日(日) [113日]
貸出作品	フィンセント・ファン・ゴッホ《鎌で刈る人(ミレーによる)》
展覧会名	「開館30周年記念「アルフレッド・シスレー展」」 於：練馬区立美術館
開催期間	平成27年9月20日(日)～平成27年11月15日(日) [56日]
貸出作品	アルフレッド・シスレー《サン＝クルー近くのセヌ川、増水》
展覧会名	「日本近代絵画の巨匠 梅原龍三郎展 — 桜島・霧島の光に魅せられて —」 於：鹿児島市立美術館
開催期間	平成27年9月25日(金)～平成27年11月3日(火) [95日]
貸出作品	梅原龍三郎「クロード・ルノワール宛書簡」 青山義雄「クロード・ルノワール宛書簡」
展覧会名	「日本が愛した印象派—モネからルノワールへ—」 於：ブンデスクンストハレ美術館、ドイツ
開催期間	平成27年10月8日(木)～平成28年2月16日(火) [131日]
貸出作品	クロード・モネ《雪中の家とコルサース山》 梅原龍三郎《モレー風景》
展覧会名	「ピカソ、天才の秘密」 於：愛知県美術館
開催期間	平成28年1月3日(日)～平成28年3月21日(月) [77日]
貸出作品	パブロ・ピカソ《科学と慈愛》

<上原仏教美術館>

工事休館前の9月末までの期間、以下の展示公開を実施した。
常設展示室では、平安時代の十一面観音立像、鎌倉時代の阿弥陀如来立像、中国宋代の菩薩立像、近代・現代に制作された仏像百数十体を展示した。また、展示ロビーでは以下の企画展、作品展を行い、企画展においては、会期中に学芸員によるミニ講座を2回行った。

(1) 企画展、特別展

企画展「南伊豆町の仏教文化」	
開催期間	平成27年4月18日(土)～平成27年6月14日(日) [61日間] 出展作品数43点 入館者数2,033名

(2) 研修会生徒の作品展

仏像彫刻教室作品展	
開催期間	平成27年6月28日(日)～平成27年7月19日(日) [15日間] 出展作品数47点 入館者数386名

4. 美術品の収集、整理及び保管（定款第5条第3号）

<上原近代美術館>

(1) 美術品の収集

本年度は、以下の2作品を購入した。（総額：7,479万円）

日本画	
「初雪」	上村松園
「東海の朝」	横山大観

(2) 美術品の整理及び保管

今年度は照明リニューアル工事を実施し、展示室に美術品に適した最新LED照明を導入したほか、エントランス、ラウンジ、事務室の照明も最新のLED照明に変更した。また、美術品の安全な保存環境を維持するため、第1展示室の空調機更新を行った。そのほか、防犯設備強化のため、最新の監視カメラの導入を行い、5台を増設した。

また、温湿度や空気質、電力使用量のデータ収集、分析等、館内の環境調査を継続して実施した。今後も収蔵品の温湿度管理に万全を期していく。額装ガラス板の無反射アクリル板化も継続して実施した。

<上原仏教美術館>

(1) 美術品の収集

今年度、新たな作品の購入はない。

(2) 美術品の整理及び保管

常設展示以外の古写経や日本画などの所蔵品については、作品保護の観点から通常は厳格な温湿度管理の上、収蔵庫にて保管し、期間を限定（4月～6月）して一部展示公開を行った。また、10月以降の工事休館に際しては、仏像及び古写経等の所蔵品保管について、静岡県立美術館や伊東市文化財保管センターの一部を保管依頼し、その他の所蔵品は、上原近代美術館収蔵庫や当館展示室内にて厳格な温湿度管理の上保管している。

5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催

(定款第5条第4号)

<上原近代美術館>

(1) 調査研究

本年度は、以下のテーマで調査研究を行った。

① 収蔵品に関する調査

- ・土森智典主任学芸員「須田国太郎のスケッチブック」
- ・齊藤陽介学芸員「ピカソ《科学と慈愛》についての基礎的調査」

② 海外美術館の動向調査

海外への収蔵品貸出に伴い、現地美術館の視察、調査を行った。

(2) 研修会の開催

平成27年度も次の2教室を開催した。

デッサン・水彩画教室		
講師	受講者	開催日時
小野 憲一氏	24人	毎月2回（年24回実施） 第2・4水曜日
日本画教室		
講師	受講者	開催日時
牧野 伸英氏	20人	毎月2回（年24回実施） 第2・4火曜日

(3) 講演会の開催

本年度は、ドナルド・キーン氏を講師にお招きし、下田とのご縁やキーン流の美術の楽しみ方について講演頂いた。また、講演では下田の陶芸家・土屋典康氏と対談して頂いた。

開催日 平成27年6月20日(土)

会場 下田市民文化会館 大ホール

演題 上原近代美術館開館15周年記念

ドナルド・キーン講演会「下田と私、そして美術」

講師 ドナルド・キーン氏(日本文学研究者、文芸評論家)

聴講者 約730名

(4) レクチャー、ギャラリートーク開催(会場：上原近代美術館)

①ギャラリートーク

計14回開催 講師 当館学芸員 参加者計245名

②レクチャー(講師：当館学芸員)

テーマ	開催日	参加人数
下田で出会える名画	4月5日	13名
モネとルノワール —二人の友情—	5月3日	17名
ピカソとその家族	6月14日	14名
上原コレクションにみる日本洋画の魅力	8月29日	18名
幻のゴッホ初期作品に出会う	9月19日	15名
上原コレクションにみる日本画の美	11月28日	21名

(5) ワークショップ開催(講師：当館学芸員、当館絵画教室講師)

テーマ	開催日	参加人数
ティーチャーズ・デー ～先生のための鑑賞教育講座～	5月17日	7名
中高校生のための鉛筆デッサンにチャレンジ!	8月14日～19日	5名
日本画で“きもち”を描いてみよう!	8月22日	16名
日本画体験教室	11月3日	13名
初心者のための鉛筆・デッサン体験講座	12月19日～20日	9名

岩絵の具でうちわに絵を描こう 於：あやめ会館(伊豆の国市)	7月30日	24名
----------------------------------	-------	-----

<上原仏教美術館>

(1) 調査研究

以下の文化財調査（外部依頼調査）を実施した。

- ① 河津町田中区・小峰堂調査
- ② 三島市玉沢・妙法華寺、塚原新田・普門庵調査
- ③ 下田市吉佐美・宝徳院調査
- ④ 御前崎市下朝比奈・大日寺調査
- ⑤ 熱海市温泉寺調査
- ⑥ 下田市箕作・竜巢院調査
- ⑦ 日本彫刻史基礎資料集成掲載のための調査協力
- ⑧ 三島市・禅叢寺調査
- ⑨ 三島市塚原新田・普門庵調査
- ⑩ 成城大学の河津町谷津・南禅寺調査協力
- ⑪ 函南町ほとけの里美術館の調査協力

(2) 研修会の開催

以下の3講座を開講した。

なお今年度より学芸員が担当する仏教美術の入門講座を開講した。

仏像彫刻教室		
講師〔仏像彫刻家〕	受講者	開催日時
岩松 拾文氏 大谷 文進氏	47名	毎月1回（年12回実施） 第3日曜日
写経教室		
講師〔仏画家〕	受講者	開催日時
山田 修也氏	31名	毎月1回（年12回実施） 第2日曜日
仏教美術講座		
講師	受講者	開催日時
当館学芸員	24名	毎月1回（年12回実施） 第2日曜日

(3) 講演会の開催

今年度は、日比野秀男氏を講師にお招きし、松崎町出身の左官、入江長八（伊豆の長八）についてお話頂いた。

開催日 平成28年2月21日（日）13時30分～15時

会場 下田セントラルホテル

演題 伊豆の長八 ー幕末明治の超絶技巧ー

講師 日比野秀男氏

（掛川市ステンドグラス美術館館長、常葉大学名誉教授）

聴講者 220名

(4) 外部からの依頼による講演会開催（講師：当館学芸員）

講演名	開催日時	聴講者
かなみ仏の里美術館での講演	平成27年4月25日	114名
伊東自然歴史案内人会主催の講演	平成27年5月19日	約100名
稲梓地区での講演	平成27年5月30日	56名
みくりや文化の会での講演	平成27年6月27日	約110名
下田市寿大学の講演	平成27年7月15日	57名
伊豆歴史文化研究会での講演	平成27年7月17日	23名
河津町仏教会の講演	平成27年11月22日	8名
島田市博物館企画展での記念講演	平成27年11月29日	約30名
ジオガイド養成講座での講演	平成27年12月1日	約60名
郷土名書画美術展での講演	平成28年1月10日	約40名

6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開（定款第5条第5号）

<上原近代美術館>

調査研究、公開を目的に美術関係図書や美術関係資料等を収集した。

* 本年度の収集図書数 298冊（内寄贈211冊）

<上原仏教美術館>

仏教美術、伊豆半島の地誌を主体とした調査研究に関連する書物を収集した。

* 本年度の収集図書数 26冊（内寄贈12冊）

7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布（定款第5条第6号）

	上原近代美術館	上原仏教美術館
年間展示予定	平成27年度年間展示予定表を掲載した美術館案内を作成	美術館案内パンフレットの他作品展の年間予定表を作成
ポスター等	展示会毎にポスター・チラシの作成頒布	展示会毎のポスター・チラシを作成し伊豆の各所で頒布
美術館だより	年4回発行 (1回約1,500部を無料頒布)	隔月で年6回発行 (1回約2,200部を無料頒布)
その他	展覧会「上原コレクション名品選Ⅰ」にて解説冊子を、展覧会「上原コレクション名品選Ⅱ」にて解説冊子『一特別展示《鎌で刈る人(ミレーによる)》』を作成、関係者、来館者に無料頒布	企画展の図録を作成し、教育委員会、図書館、関係寺院等に無料頒布

8. その他目的を達成するために必要な事業（定款第5条第7号）

地域の教育文化向上活動の一環として、本年度も小中高校生を対象とした無料入館日（毎週土曜日）を実施し、静岡県内全児童対象の事業「キッズアートプロジェクトしずおか」での児童無料入館対応を行った。

また、本年度も継続して地域の文化向上に寄与すべく、幼児、小中高校生を対象とした美術の出張授業、授業入館等を実施した。

<上原近代美術館>

- ・土曜日無料入館者 32名
- ・パスポート入館者 55名
- ・出張授業 7校（17回） 生徒合計341名
- ・授業入館 4校（4回） 生徒合計146名
- ・社会体験研修 小学校教諭1名
- ・職場体験学習 中学生1名

<上原仏教美術館>

(1) 学校教育との連携

・土曜日無料入館者		13名
・パスポート入館者		34名
・出張授業	8校	生徒合計272名
・授業入館	4校	生徒合計89名
・職場体験学習	3校	生徒6名、教員1名
・学芸員実習	1校	学生1名

(2) 学芸員研修（平成27年7月16日 於：東京文化財研究所）

美術館リニューアル工事参考のため、美術館・環境整備の一環として行われているIPM(総合的有害生物管理)のフォーラムに森田学芸員が参加した。

- ・フォーラム「臭化メチル全廃から10年：文化財のIPMの現在」
(東京文化財研究所主催)

以上